

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5 6	ご利用者の行動や言動を制止する言葉掛けや対応が見受けられる。	ご利用者ファーストの介護を行い、ご利用者の生活の場を守る。	認知症研修を再度繰り返し行なう。 ご利用者の行動や言動やその時の気持ちに合わせた声掛けを工夫する。 制止する言葉や否定する言葉を使わないよう、職員同士で声を掛け合う。	12ヶ月
2	14 19 20 27 35 40	個別援助が少なくなり集団での援助場面が多くなって来ている。個別援助に繋がるようにケアだけでなく個々の楽しみや希望についても話し合いが必要である。	個々の楽しみが叶えられ、日々の楽しみを持って生活が出来る。 地域の方に講師になってもらい楽しみや活動がレベルアップする。	全職員がご利用者1人ひとりに合わせた援助を心掛ける。 その日のご利用者の様子や気分に応じて、臨機応変に対応できる職員を育てる。 個々の楽しみや希望を知り実現に繋げる。 地域の方に得意分野の講師を依頼する。	12ヶ月
3	20 25	防災対応をまだ一部しか職員に周知出来ない。職員間でも防災にたいする意識がまちまちである。また、地域との協力体制も万全ではない。	防災時の各職員の役割分担を周知し的確に行動が出来るように訓練を行い実践力を高める。 災害時の備えの体制・対応法も周知する。 地域の自治体や消防団と協力連携を構築する。	防災意識を高める為に常日頃から情報共有、意見交換を行う。 年3回は役割分担のリーダーで集まり、話し合いの場をもうけ改善に繋げる。 地域自治体や消防団等と協力体制を話し合い出来る事から連携していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。
複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成してください。